

令和 元 年度 第3号補正予算 主要な事業の説明書

(一般会計)

令和元年 第3回 嬉野市議会定例会提出

【様式1】

令和元年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	保育対策総合支援事業(保育所等業務効率化推進事業)				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	①妊娠・出産・子育て				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		予算書ページ	19	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

保育所等における保育システムを導入することで、保育業務及び園児の登園管理、副食費徴収等、事務負担軽減を図ることができる。

2. 事業内容

嬉野市内の保育所等における保育システムを導入することで、保育業務及び園児の登園管理、副食費徴収等、事務負担軽減を図るために補助を行う。
市内保育園(3か所) 補助基準額 1,000千円

3. 全体計画		事業期間		平成 30 年度 ~ 令和 元 年度		事業費(千円)		4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
実施年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			内 容		補助	単独
事業内容		保育システム導入に対する補助		乳幼児突然死症候群等防止のための備品購入補助	保育システム導入に対する補助	4,458		負担金、補助及び交付金(補助金)岩屋保育園、嬉野りすの森保育園、みのり保育園		2,250	
事業費(単位:千円)		補助率	2,000	208	2,250						
財源内訳	国庫支出金	1/2	1,500	140	1,500						
	県支出金										
	市債										
	ふるさと応援寄附金										
	その他										
一般財源			500	68	750			計		2,250	

5. その他参考となる事項

- 補助率 国(1/2) 市(1/4) 事業者(1/4)
- 国庫補助 補助基準額1,000千円と対象経費を比較して少ない方の1/2
- 保育園ごとの保育システム導入費内訳

対象施設	対象経費(備品購入費)	金額	補助基準額	国庫補助所要額
嬉野りすの森保育園	ソフトウェア、タブレット端末、ICカードリーダー等	1,200千円	1,000千円	1,000千円×1/2=500千円
みのり保育園		1,200千円	1,000千円	1,000千円×1/2=500千円
岩屋保育園		1,200千円	1,000千円	1,000千円×1/2=500千円

【様式1】

令和元年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	新規自営就農者支援事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業			
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		予算書ページ	21	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

市内で新規に独立・自営就農を行う農業者に対し、農産物の生産に必要な機械の導入や設備整備等に要する費用の一部を助成することにより、初期投資の負担軽減が図られ、早期の所得安定につながる。

2. 事業内容

市内で新規に独立・自営就農を行う農業者に対し、その施設整備等が国・県等の補助事業の対象とならないものに対し、市単独事業として費用の一部を補助する。

3. 全体計画		事業期間 平成 元 年度 ~ 令和 年度				事業費(千円)	4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
実施年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	7,000	内	容	補助	単独	
事業内容				施設整備及び機械導入に対する補助		負担金、補助及び交付金【今回補正】				
						(補助金)			7,000	
						農業機械導入 @500千円×2件=1,000千円				
						園芸用ハウス @1,500千円×4件=6,000千円				
事業費(単位:千円)					7,000					
財源内訳	国庫支出金									
	県支出金									
	市債									
	ふるさと応援寄附金									
	その他									
一般財源					7,000					
						計			7,000	

5. その他参考となる事項

対象者: 次のすべてに該当する者(1事業主体に対し1回限り)

- ①嬉野市に住所を有する18歳以上50歳未満の者
- ②青年等就農計画の認定を受けた者、又は公的機関が認める研修を修了した者
- ③嬉野市に対する債務の未納がない者

補助内容: 国や県が実施する補助事業の対象とならない機械導入や施設整備に要する費用の1/2以内。(上限50万円※)

※ただし、土地の造成、水源確保のための井戸掘削等の場合の上限150万円

その他: 令和元年度(平成31年4月以降)に導入した機械等及び着工した施設から補助対象とする。

【様式1】

令和元年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	農村ビジネスサポート事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業			
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	21	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

農産物直売所や体験・観光農園、農家レストラン農家民宿等の農村ビジネスを磨き上げ、集客力を高めることにより農林業者の所得向上と農山村地域の活性化を図ることを目的とする。

2. 事業内容

市内で「さが農村ビジネス支援事業」(県単独事業)に取り組む組織に対し、一定の補助を行う。

3. 全体計画		事業期間		平成 30 年度 ~ 令和 元 年度		事業費(千円)		1,505	
実施年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	事業費(千円)		1,505	
事業内容				6次化に対する補助	6次化に対する補助				
事業費(単位:千円)				475	1,030				
財源内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	市債								
	ふるさと応援寄附金								
	その他								
一般財源				475	1,030				

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
負担金、補助及び交付金【今回補正】			
(補助金)			1,030
整備対策 1件 1,000千円			
推進対策 1件 30千円			
計			1,030

5. その他参考となる事項

対象事業
 ・整備対策事業 1件 農家レストラン 事業費11,413,220円×1/10=1,141千円(上限1,000千円)
 ・推進対策事業 1件 PR資料作成 事業費300,300円×1/10=30千円

【様式1】 令和元年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	国際観光・産業戦略事業(アジアベストレストラン50)				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	④観光業				
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算書ページ	23	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

アジアの主要都市で毎年行われている「アジアベストレストラン50」が来年3月に日本で初めて武雄市で行われることが決定した。この催しにはアジアのトップレベルのシェフが参加し、そのスタッフやマスコミも合わせると約800人が武雄市に参集する予定である。この機会に、参加したシェフによる嬉野市の特産物を使った料理の考案や、市民と一緒にイベントを開催し、市のPRも含め、市の特産物の販路拡大につなげることを目的とする。

2. 事業内容

- ・既存地域資源の磨き上げ及び新たな魅力創出事業
- ・関係団体等との連携による観光客誘致プロモーション事業
- ・観光おもてなし整備、育成支援事業 等

3. 全体計画		事業期間		平成		年度		～ 令和		年度		事業費(千円)	
実施年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度					
事業内容													国際観光・産業戦略事業
事業費(単位:千円)		補助率											2,500
財源内訳	国庫支出金												
	県支出金												
	市債												
	ふるさと応援寄附金												
	その他												
一般財源													2,500

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
委託料	【今回補正】		2,500
	「アジアベストレストラン50」開催関連業務 2,500,000円		
	計		2,500

5. その他参考となる事項

「アジアベストレストラン50」が武雄市で開催されるにあたり、関連して市独自の事業を行う。
 「アジアベストレストラン50」開催関連業務 2,500,000円
 アジアトップシェフを招待し、コラボ料理等の開発を行いマスコミによる世界への情報発信を狙いPRを行う。

【様式1】

令和元年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費	事業名	農林地崩壊防止事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	②林業				
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設・農林整備課		予算書ページ	22	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

風水害等によって崩壊し、または崩壊の恐れがある林地で、人家及び公共施設に危害を及ぼす危険があり緊急に復旧工事を行い、民生の安定を図る。

2. 事業内容

令和元年7月下旬の大雨で崩壊した市内1箇所の林地の復旧を行う。

3. 全体計画		事業期間	平成	年度	～ 令和	年度	事業費(千円)	3,700
実施年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
事業内容		農林地崩壊防止事業		農林地崩壊防止事業	農林地崩壊防止事業			
事業費(単位:千円)		補助率	3,785		10,018	3,700		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	50%	1,830		3,187	1,750		
	市債							
	ふるさと応援寄附金							
その他(分担金)	25%	915		1,593	875			
一般財源		1,040		5,238	1,075			

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
工事請負費	【今回補正】	3,500	200
	1箇所 北志田地区 3,700,000円		
	計	3,500	200

5. その他参考となる事項

- ・事業箇所数 のり面工 1箇所 (塩田町 北志田地区)
- ・工事請負費 事業費 3,700千円(内単独200千円) 補助率 県50% 市25% 地元25%

【様式1】 令和元年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2 道路橋りょう新設改良費	事業名	社会資本整備総合交付金事業(市道調査・改良)					
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野		⑦道路・交通		
実施主体		市	所属部	建設部	所属課	建設・農林整備課	予算書ページ	24	新規		継続	○	

1. 事業の目的・効果

道路防災事業及び舗装補修整備事業により通行車両及び歩行者の安全確保を図ることを目的とする。

2. 事業内容

市道防災事業路線の法面工事を行う。

3. 全体計画		事業期間	平成 23 年度	～	令和 年度	事業費(千円)	356,348
実施年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
事業内容		市道調査・改良	市道調査・改良	市道調査・改良	市道調査・改良		
事業費(単位:千円)		補助率	13,069	24,804	36,716	20,171	
財 源 内 訳	国庫支出金	52.50%	7,800	12,993	18,007	9,382	
	県支出金						
	市債	90%		4,800	13,900	7,600	
	ふるさと応援寄附金						
	その他						
一般財源			5,269	7,011	4,809	3,189	

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
内 容		補助	単独
委託料	舗装補修整備、道路防災調査	3,000	400
	【今回減額補正】	△3,000	△400
工事請負費	舗装補修整備、道路防災調査		
	舗装補修整備、内野山木場線	85,000	2,300
	【今回減額補正】	△85,000	
	舗装補修整備、内野山木場線		
	【今回追加補正】	17,871	
	万才堤ノ上線		
計		17,871	2,300

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	90,700千円
9月補正事業費	△70,529千円
(補正財源内訳) 国庫支出金	△36,818千円
市債	△29,500千円
一般財源	△4,211千円
補正後事業費	20,171千円

【様式1】

令和元年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	事業名	原子力・エネルギー教育支援事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	①教育			
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	予算書ページ	27	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

エネルギーや原子力並びに環境をめぐる問題についての興味や関心を喚起し、知識の獲得と理解の促進を図る。
 原子力などのエネルギーを利用した大規模発電の仕組みを学習するとともに、太陽の光など自然のエネルギーを利用した発電方法も併せて学習し、それぞれの発電方法の利点や課題を比較することを通して、エネルギーについて客観的な見方を養い、また、実験を通して放射線に対して興味・関心を高めるとともに、正しい知識を身に付けさせる。

2. 事業内容

佐賀県原子力・エネルギー教育支援事業補助金を活用して、原子力やその他のエネルギーに関する教育を推進する。
 (1) 大規模発電で用いられるエネルギー変換を実験を通して理解させるために、手回し発電機を設備する。
 (2) 太陽の光エネルギーは、電気エネルギーに変換できることを実験を通して理解させるために、ソーラーカーキット(光電池自動車)を設備する。

3. 全体計画		事業期間 平成 年度 ~ 令和 元 年度				事業費(千円)	4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
実施年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		内	容	補助	単独	
事業内容				実験器具・実験材料の購入	63	需用費	【今回補正】 (消耗品費) 実験器具・実験材料	62	1	
事業費(単位:千円)					63					
財源内訳	国庫支出金									
	県支出金	定額				62				
	市債									
	ふるさと応援寄附金									
	その他									
一般財源					1	計	62	1		

5. その他参考となる事項

○歳入 活用する補助金の事業名:佐賀県原子力・エネルギー教育支援事業補助金
 補助率:定額(事業対象の小中学校の1学級あたり100千円を限度とする。ただし、施設見学会以外の事業については、1学校あたり100千円を限度とする。)

○歳出 【大草野小学校】発電・エネルギーに関する教育のための実験器具・実験材料の購入
 ・需用費(消耗品費)
 ソーラーカー工作セット、小学生用手回し発電機、発光ダイオード、電子オルゴール、リード付きコンデンサ

【様式1】 令和元年度 9月 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 図書館費	事業名	読書活動推進月間事業(佐賀うちどくフェスティバル)			
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	②生涯学習・青少年			
実施主体	その他	所属部	教育部	所属課	教育総務課		予算書ページ	28	新規	○	継続

1. 事業の目的・効果

平成29年に「嬉野市文化の香り高い読書のまち活動推進条例」が制定された。推進月間である10月に、読書に関する市民の関心及び理解を深め、市民が積極的に読書活動に取り組む意識を高めるための取り組みを行う。

2. 事業内容

読書活動推進月間イベントとして、佐賀うちどくネットワークと共に「第7回佐賀うちどくフェスティバルIN嬉野」を行い、必要な後援・協力を行う。

3. 全体計画		事業期間 平成 年度 ~ 令和 元 年度				事業費(千円)	4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)	
実施年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	100	内 容		補助	単独	
事業内容				佐賀うちどくフェスティバルIN嬉野		負担金,補助及び交付金	【今回補正】		100	
							(負担金)佐賀うちどくネットワーク			
事業費(単位:千円)					100					
財源内訳	国庫支出金									
	県支出金									
	市債									
	ふるさと応援寄附金									
	その他									
一般財源					100					
							計		100	

5. その他参考となる事項

【開催地】
 第1回佐賀うちどくフェスティバル(伊万里市)
 第2回佐賀うちどくフェスティバル(多久市)
 第3回佐賀うちどくフェスティバル(鳥栖市)
 第4回佐賀うちどくフェスティバル(唐津市)
 第5回佐賀うちどくフェスティバル(武雄市)
 第6回佐賀うちどくフェスティバル(神崎市)
 第7回佐賀うちどくフェスティバル(嬉野市)

【主催】 佐賀うちどくネットワーク
 【内容】 ○「うちどく」についての実践発表(3団体)
 ・嬉野小学校「リレーうちどく」
 ・塩田町おはなし会
 ・嬉野町おはなしどんどん
 ○児童文学作家 くすのき しげのり 氏の講演